

美味しく頂戴した。食後、アルバム、夏の幼稚園の記録、麴町區の保育會誌等を拜見する。アルバムは保育終了の幼児の爲のもの、一同可愛い、寫眞にみとれてゐた。午後は遊戯室で全園兒と共に「ジャックと豆の木」の映畫をみせていた。徳久先生のお話にきゝ入りながら子供達と共に本當に楽しい一時であつた。終つて一しよに唱歌、ラジオで練習されたもの、このことよく揃つてきれいであつた。お歸りの時（時半）になつたのでお椅子をもつて各部屋に引き上げすぐにお歸りとなる。靴箱のある出入口まで列になつて出てくると、混雑しないやう數人づゝ送り出していらつしやる。

子供達が歸ると川の組のお部屋に席をつくつて下さり、お心のごもつたあたゝかいおもてなしに恐縮しつゝ、先生方を圍んでいろ／＼お話をした。はじめの參觀後一同の感想は、お子さん方

永田町幼稚園參觀記

お天陽様も冬の日に、にっこり笑つた日。永田町の靜かな學校の前に集りました。市電平河町の停留場よりじき、目の前にある。白薄緑の校舎は背い空には一段と美しく又なごやかな、樂し相な學校に感じられた。日だまりで集るのを待つ間も幼兒達はお辨當をさげて駈込んでゆく。

玄關にゆくとも藤澤先生がにこ／＼と迎へて下さる。通された所は、私共十人餘が悠々と入れる應接間。ハブ茶の暖いのを御

からうけた明るいのび／＼した素直な感じを基としての感嘆の聲であつた。麴町區で選定なまつた防空づきん、上級等の御説明、衛生方面の實行事項についての御話、毎年の學藝會の御苦心、その効果、園外保育のこと等有益なお話も伺ふことが出来、更に、間もなく卒業する實習科生への御言葉として就職後の心がまへについて温いお諭をいたゞいたこと等、先輩の先生方のあたゝかい御心につゝまれたたのしい一時であり、今後の勵みを覺える一時であつた。この時のことをもつと精しく述べるべきであるが紙面の都合で止むをえない。その後お人形芝居のお人形をみせていただき、更にスキー映畫をみせていたゞいて有意義なこの一日を過ぎていたゞいたことを感謝しつゝ、辭去したのであつた。こゝに改めて番町幼稚園の諸先生の御厚意に深く御禮申上げると共に、御言葉に甘へての思ひがけぬ長座をお詫び申上げる次第である。

上 遠 文 子

馳走になりつゝ藤澤先生の御話を伺ふ。藤澤先生は眼鏡をおかけになりその日は黒のスーツを御召しになつていらつしやり、私共みどり會の大先輩でいらつしやり此處の主任先生をしていらつしやいます。

永田町國民學校が竣工した折、町内人の希望により、國民學校の一隅を幼稚園に戴き此處に永田町幼稚園が始まつたわけであります。そのため何一つ幼稚園としての設備なく皆、國民學校の御

部屋を拜借していられる。

不自由ではあるが却々便利な事も大いにあるとの御話でした。組は年少組は川の組、年長組は山の組と二組で、先生が三人。最近希望幼児数が大變増加してきた相であります。

應接間を出て御部屋をみせていたゞく。體育堂、學校の體操場だ。片隅にピヤンが置いてあり、周圍には肋木があり、天井からは體育器具が種々さがつてゐる。幼稚園は週二回學校のあいてゐる時間に、御遊戯をする。此處まで長い廊下を、自分々々の椅子を持つてくるが、これも一つの訓練が出来るといつていらした。これらの運動器具も、幼児相當の程度において使用していられる。不自由ながらも便利との御言葉をうらやましく味ふ。

講堂、先づ、綺麗で立派なのに驚く。國民學校でも、これだけの設備の所はさうないと伺ひ、すべてとゞのつたこの様子にびっくりしてしまふ。幼稚園も式の時は一階の席にすわるのだ相です。音樂室、日あたりのよい、二方が全部窓の明るい御部屋。椅子も机も國民學校には上等すぎる位の立派なものです。はーはーと感心して拜見してゐる中に時間のベルがなり國民學校の生徒さんが入つていらした。こんな氣持の好い御部屋で勉強が出来るといふ本當にうらやましくつた。

階段を上る。上ると屋上ではないが見晴のよい所がある。其處へゆくど左手には議事堂がくつきりと、右手の方は李王家の御殿に、赤坂離宮が緑の森の蔭にみえ、前は閑院宮邸に、府立一中、お隣が大藏省。

すべて世の中の最高なる建物をあつめた様に、贅澤な程の選境

であります。隣家も相當なお家ばかりなので此處の生徒さんもしろいのですよと御話でした。

階段を下る、廊下をゆく。

衛生室、勿論國民學校のであるが、幼稚園も又同様に使用していられる。此處には專屬の衛生の先生がいらつしやり、生徒、幼兒の衛生保健を皆して下さる。右側にはレントゲン室左側に寢蓋と、廣い御部屋も衛生器具が一杯で、虚弱兒童の保護及び結核の豫防など手のとゞいたもので、一週に一度、幼兒達もレントゲンで寫真をとり、その状態をみ、同時に家庭にもそれをあげて連絡をとつてゐる。絶対に、生徒幼兒の體に結核など入る事なく、たとへ入つても早期発見のため決して體を損ふ事はないとおつしやつた。すべて衛生設備の整つたのを拜見致し、おどろくと共に、大切な日本の子供、少國民をあづかる我々共は先づ第一に考へる事は、この事ではないかしらと考へさせられました。

そこを出て廊下をゆく。これまでは國民學校の部屋であつたが、今度は、幼稚園である。玄關の兩側、たゞの上の高さ二米足らずの綺麗な木の戸棚が並んでゐて、しかもその上には、一輪差にカーネーションがさしてゐる。色は、黒色がまつたニスでぬられ、戸扉の上には、馬とか花とかの切ぬきが張られてゐる。此處までお話すると皆さんは何が入つてゐると御想像なさるでせう。バスケツト入れかしら、コートかけかしらと御想像なさるでせう。が又、おどろいた事は、そいつと中を開けると可愛らしいお靴がすーつと並んで入つておりました。どうしても下駄箱とはとても考へら

れず裝飾をかねたこの御考案につくく見入つてしまひました。その奥に保育室が背中合せに並んでゐる。年長組山の組を拜見する。この組は七十人程もいらつしやるがやはり御休みが多く、今日は三十人ちよつと位いらしい様だ。

ボンボン〜〜〜、ボン〜〜〜、ボン〜。黑板の片隅に取つげられた、木琴が鳴り出した。今まで夢中に遊んでゐた幼児は、いつの間にかこの美しい音色に姿勢を正し椅子の側にもちやんと立つて宮城の方向に向つてゐる。木琴は鳴終つた。先生が前方に立たれて最敬禮。着席。

藤澤先生が手風琴を肩にお弾きになると皆は元氣よく歌ふ、申しおくれたが、この保育室は三方が窓になり、實に明るい感じの御部屋で、黑板にはたきびの繪がかゝれてゐてその下のお道具箱入れる引出しの上には製作品の材料がのせられてゐる。入口の片隅にはガラス戸棚があり、お人形さん又粘土製作品が飾つてゐる。こんな明るい氣持のよい御部屋で幼児達は、先生の伴奏で思ふ存分の聲を出してのどかに、樂し相に歌つてゐる。

ちやん〜〜、ちやん〜〜とハホト、ハヘイ、ロニト、と先生がお弾になるとハホトはお手たゞき、ハヘイは頭の上で拍手、ロニトはお膝をたゞく。パチ〜、ボン〜、パタ〜、お弾きになる音の見分けの鋭さ、又そのリズムのそろつてゐる事、實に見事で、その輕快なリズムを聞いてゐる私共まで心地よくなる程である。間違へる人は先づゐない。今度は、一人づゝ指名なさり、一度だけお弾きになる。ハヘイ、ホトハ、ハホト、ロニト、とばん〜とどの音を弾かれても答へる。それも考へ〜云ふの

でなく即座に答へる様子をみるとすばらしい、聞いてゐる私など、何だらうと考へてゐる中に次の音、目を白、黒させてしまふ。

次に和音合唱、幼児達が伴奏にあわせて歌へば、先生がそれにアルトを和したりして一つの合唱をなさる。それがまた仲々綺麗で、これが幼稚園の生徒さんかしらと耳をいぶかる位である。誰も〜が歌はないのである人はゐなく、しかも樂しく楽しんでゐる様子をみる時本當にうらやましくなつてしまつた。それについて、音感を動的にし、汽車になり、ハホトの音が鳴つたら東京驛とか横濱驛とか、又唯の行進で音により、立止つたりしやがんだり、の訓練を拜見する。藤澤先生の御話にもございましたが、音感訓練は、市の方の研究として種々御研究なさり、去年はその發表もなさいました由、何程、訓練の上達、耳訓練の發達は、解らぬ私にも實におうらやましい限りで、如何に先生の御苦心が大變の事と存じました。その他にも和音笛などもお使ひなつたり種々御研究していらつしやいます。相當な長い時間この訓練を拜見致しましたがお子さん方がちよつともあきる事なく却つて樂し相に、した。遊んでいられるのを拜見して本當によい勉強をさせていたゞきました。

その後、手技のお花屋さんを拜見し、もう時間にもなりましたのでお名残おしくも歸途につきました。設備よく又環境のよい此處の學校に學ぶ生徒、生活する幼児達の樂しさ、潑刺さを、うらやましくもあり、同時に自分達の反省もうながされた。よきなとどり悪しきを捨て、こそ參觀の價値があるのであらう。終りに自分の拙い文にて充分の事を記す事が出来なかつた事をおわび致し、種々御教へいたゞいた事を深く感謝致します。